

## 学校評価に係る意識調査（保護者、児童、教職員）についての考察

### 1 「教育活動評価アンケート」集計表（対象；保護者）

#### （1）評価

- ・数値は「そう思う」、「おおむねそう思う」を合わせた肯定的な回答数の割合（%）

※斜数字は85%未満の割合だったもの

※上段；令和元年度、下段；平成30年度の回答

No	設 問	全校
1	お子さんは、楽しく元気に学校に通っている。	97.6 98.9
2	お子さんは、基礎・基本を身につけている。	95.0 93.6
3	お子さんは、授業内容を理解している。	94.6 93.6
4	お子さんは、家庭学習に自分から取り組んでいる。	70.7 65.4
5	お子さんは、本をよく読んでいる。	63.1 54.1
6	お子さんは、元気に自分からあいさつをしている。	80.9 74.9
7	お子さんは、思いやりがあり、やさしい行動ができている。	95.0 94.9
8	お子さんは、友達と仲良く生活できている。	95.4 97.3
9	お子さんは、運動に進んで取り組んでいる。	79.1 81.0
10	お子さんは、望ましい生活習慣を身につけている。	88.3 87.1
11	教職員は、熱意を持って教育にあたっている。	99.3 97.6
12	教職員は、ひとりひとりの子どもを大切にした指導や支援を行っている。	98.3 95.7
13	教職員は、わかりやすい授業をしている。	98.0 96.1
14	教職員は、授業内容や指導方法の工夫をしている。	98.6 96.7
15	学校は、教育方針や子どもの様子を学校・学年だよりやHP、参観日等で公開している。	97.0 95.0
16	学校は、家庭への連絡や相談をきちんと行っている。	94.0 94.4
17	学校は、何かあった時、すぐに対応している。	97.3 97.0
18	学校は、子どものことについて気軽に相談できる体制をとっている。	89.4 93.7
19	学校は、登下校や学校生活の子どもの安全確保をしている。	93.9 94.6
20	学校は、不登校やいじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	93.4 97.9

21	学校の年間行事計画や、授業参観の時期や回数は適切である。	94.1 94.7
22	学校は、小規模校の特性を生かした教育活動を展開している。	93.0 90.9
23	学校は、家庭、地域との連携を大切にしている。	96.7 96.0

## (2) 考察

昨年度よりも数値が上昇している項目が15、下がった項目が8となった。今年度の教育活動が保護者にも理解されているものと考えますが、数値の低い項目、数値の下がっている項目については、真摯に受け止め、今一度見直していかなくてはならない。

。それぞれの項目については以下の通りである。

- (No.1) 昨年度よりも1.3%下がった。子どもたちが希望を持って登校できるように、これからも教育活動を工夫していきたい。
- (No.2) 1.4%の上昇、(No.3) 1.0%の上昇、この2つの項目が、昨年よりもさらに上昇しているのは、これまで取り組んできた様々な授業研修の成果ととらえ、今後も研究と修養に励み、授業力のアップに取り組んでいきたい。
- (No.4) 5.1%の上昇。児童アンケートでは、69.7%、職員アンケートでも83.3%と低い数値となっており、保護者、児童、教職員共通の本校の大きな課題の一つとなっている。家庭学習のあり方や取り組ませ方について再度検討し、家庭学習の充実を図っていきたい。
- (No.5) 9.0%の上昇、ブックリンピックを実施し、読書の充実に力を入れている成果と考える。数値自体は高くないので、さらに読書活動に力を入れていきたい。
- (No.6) 6.0%の上昇、「**あ**かるく、**い**つも、**さ**きに、**つ**たわる大ききさで」を合い言葉に取り組んでおり、児童会も昨年に引き続き、「お元気隊」によるあいさつ運動を行った。校内では以前よりも元気なあいさつの声が聞こえてくるが、キャンペーンが終わると活動が弱くなる傾向にある。保護者の評価を考えると、どんな時でも、だれにでも気持ちのよいあいさつができるように、これからも指導を継続していきたい。
- (No.7) 数値はほぼ横ばい。道徳の授業の充実を図るのはもちろんのこと、教育活動のすべての場面で指導を行い、豊かな心を育てていきたい。
- (No.8) 1.9%数値が下がる。子供たちの様子をしっかりととらえ、今後も、仲間作り活動を充実させ、良好な人間関係作りを行っていきたい。
- (No.9) 1.9%数値が下がる。まだまだ課題の残る項目の一つである。知・徳・体のバランスのとれた子どもを育てるためにも、レク・スポーツなどへの取り組ませ方をさらに工夫したい。現在取り組んでいる遊友ランキングにもさらに積極的に取り組みたい。
- (No.10) 1.2%の上昇、学級担任による学級指導はもちろんのこと、いろいろな場面で全職員が同じ歩調で指導をしている成果ととらえたい。また、家庭や地域の協力があってこそその成果と考えられる。深く感謝したい。しかし、数値自体は80%台と高くはないので、課題の一つとして取り組んでいかなくてはならない。
- (No.11) 1.7%上昇。99.3%の保護者の方々に肯定的に評価をいただいていることを励みとし、今後も教育活動にあたっていきたい。
- (No.12) 2.6%の上昇、No11と同様に、高い評価に満足することなく、今後も一人ひとりの児童を大切に教育活動を行っていきたい。
- (No.13, 14) No2、No3の設問の裏付けになる項目。ともに、昨年度よりも数値が上昇している。高く評価いただいたことを励みとして、日ごろの教材研究や指導法の研究を怠らず、今後も分かりやすい授業作りを心がけていきたい。

- (No.15) 数値は上昇しているものの、ホームページ全体がわかりにくいものとなっているので、来年度、流山市として統一の様式となることをきっかけに、さらに充実したホームページ作りを行い、学校の様子を発信していきたい。
- (No.16) 0.4%下がる。本校のめざす教師像の一つである「誠意」の部分の評価ととらえ、今後もさらに丁寧な対応を心がけていきたい。
- (No.17) 0.3%の上昇、No16と同様に、「スピード」の部分の評価ととらえ、いろいろな出来事に対して、迅速に対応していきたいと考える。
- (No.18) 4.3%下がる。「気軽に相談できる」という項目の数値が下がってしまったことを真摯に受け止め、今以上に、相談しやすい雰囲気作りを心がけていきたい。
- (No.19) 93.9%という高い評価は、地域の見守りボランティアの方々の協力が評価されたものと考え、地域の見守りボランティアの方々に深く感謝したい。また、職員でも子どもたちの安全確保に力をいれていきたい。
- (No.20) 4.5%下がる。学級担任が少しでも不安に思うことは、すぐに職員の間で共有され、早めの対応で、不登校やいじめのない学校をめざしているが、いじめ・不登校については、大きな関心事であるため、厳しい評価となってしまった。今後もさらにアンテナを高くしながら、そのときとれる最良の方法で、生徒指導にあたっていきたい。
- (No.21) 引き続き、教育効果の高い行事を設定し、子供たちが成長できるように取り組んでいきたい。今年度体育館の改修工事のため、行事の変更を余儀なくされたことが数値の下降につながったと考えられる。
- (No.22) 2.1%上昇。小規模校の特性を生かした活動を行ってきたのだが、まだ、十分に伝わっていない部分がある。来年度は、児童数的にはまだ小規模校の特性を生かせるので、様々な活動を取り入れながら、学校の様子を発信していきたい。
- (No.23) 引き続き、家庭、地域と連携をとりながら、教育活動を進めていきたい。

## 2 「学校生活アンケート」集計表 (対象；児童)

### (1) 評価

- ・数値は「とても」、「はい」を合わせた肯定的な回答数の割合 (%)

※斜数字は85%未満の割合だったもの

※上段；令和元年度、下段；平成30年度の回答

1	学校は、楽しい。	96.6
		97.6
2	学校の勉強がわかる。	94.1
		90.4
3	授業中、先生や友だちの話をしっかり聞いている。	94.7
		94.0
4	自分の考えを発表している。	75.7
		68.4
5	自分からすすんで、家庭学習をしている。	69.7
		71.1
6	クラスには、いっしょに遊んだり相談したりできる友だちがいる。	95.3
		95.4
7	学校のことを大切にしている。	99.3
		99.0
8	自分から進んで運動している。	84.9
		85.6

9	外遊びをしている。	82.6 85.6
10	あかるく、いつも、さきに、つたわる大ききで、あいさつをしている。	88.6 90.3
11	給食をすききらいなく食べている。	85.1 81.6
12	掃除にいっしょうけんめいとりくんでいる。	95.3 95.6
13	本をよく読んでいる。	74.9 73.0
14	図書室をよく利用している。	65.9 61.1
15	音読がすき。	65.6 67.6
16	安全に注意して登下校している。	97.4 99.1
17	学校で火事や地震がおきた時、どうしたらよいか知っている。	95.4 95.9
18	先生は、ひとりひとりに話しかけたり、話をよく聞いてくれたりする。	95.9 96.0
19	先生は、がんばったことをほめてくれる。	97.0 94.6
20	地域の活動に進んで参加している。	65.3 68.9
21	学校のきまりを守っている。	98.0 99.0
22	運動会や学習発表会などの行事にいっしょうけんめい取り組んでいる。	97.9 97.9

## (2) 考察

- (No.1) 1. 0%下降、「楽しい」ということが、安易に楽しいのではなく。いろいろなプロセスを経た結果充実した活動ができ「楽しい」というように、楽しさの中身の充実を図っていきたい。
- (No.2) 3. 7%上昇、保護者アンケートでも高評価を得たが、子供たち自身も勉強がわかるという実感を持っているので、今後も授業研究に力を入れ、「わかる授業」「楽しい授業」を展開できるよう努力していきたい。
- (No.3, 4) 話を聞くことはしっかりとできるが、自分の意見を発表することを苦手とする傾向がはっきりと出ている。ともに昨年よりは数値が上昇しているが（特に No4 は7.3%上昇）、全教室に掲示してある「STEP UP 伝え方」を職員がしっかりと意識して授業作りを行うことを共通理解して自分の考えを堂々と発表させていきたい。
- (No.5) 1. 4%下降しているものの、保護者アンケートの考察でも触れたが、家庭学習の充実は本校の課題の一つである。「宿題」以外に自分から進んで行う学習にどう取り組ませるか（特に低学年）をさらに考えたい。
- (No.6) 数値は、ほぼ横ばい。各担任が一人ひとりの児童をしっかりと見守ってクラスにひとりぼっちを出さない取り組みを今後も継続して進めていきたい。
- (No.7) 0.3%数値は上昇しているものの、今年度も、校内を見回してみると丁寧さに欠ける使用状況も見られる。みんなのものをどれだけ丁寧に、そして大切にできる

- か、この気持ちをいろいろな場面で教えていきたい。
- (No.8、9) ともに昨年度より数値が下がってしまった。昨年度と設問の表現を少し変更したところにも低さが出たのかもしれないが、レクや運動の実施方法を工夫し、外運動を励行したい。
- (No.10) 数値が1.7%低下した。「あいさつ運動」などの取り組みでは全校的に高まりを見せるが、取り組みが終わると弱まる傾向にある。保護者アンケートの分析と同様になるが、どんな時でも、だれにでも気持ちのよいあいさつができるように、これからも指導を継続していきたい。ただ、子供たちの中には、継続した取り組みの中で、より高いものをめざした結果、数値が上昇していないのかもしれないとも考えられる。
- (No.11) 3.5%上昇、給食を通した「食育」の成果と考えられる。「食育」さらに充実させて、好き嫌いなく食べることの意義を教えていきたい。
- (No.12) 15分間の清掃の時間、児童はやるべき分担をしっかりとこなしているが、学校がきれいになって気持ちがよいという喜びも教え、さらに清掃活動を充実させたい。
- (No.13~15) 全校で取り組んでいるブックリンピックの成果と考えられる。特に図書室の利用が昨年よりも上昇している。「音読」については、数値が下がってきているので、子供たちにその意義をしっかりと伝え、来年度、さらに充実した活動にしていきたい。また、朝学習以外でも音読の時間を充実したものにしていきたい。
- (No.16) 数値が高いのは、登下校時に、地域の安全見守りボランティアのみなさんが子供たちを熱心に見守って行っていていただいているおかげと考え、深く感謝したい。しかし、歩く姿を見ると、安全に対する注意が散漫になっている児童もいるので、しっかりと指導していきたい。
- (No.17) 95.4%の児童が肯定的にとらえているのは、学校で実施している避難訓練の成果と考えるが、周りの指示に依存するのではなく、「自分の身は自分で守る」という意識化を図るための指導や訓練も実施していきたい。また、「落ちてこない、倒れてこない」場所を探せるようにショート避難訓練の実施にも力を入れていきたい。
- (No.18) 数値はほぼ横ばい。教職員の努力の成果ととらえたい。今後もさらに子供たちに目を配りながら教育活動を進めていきたい。
- (No.19) 2.4%上昇、ほめることは子供を育てるための重要なポイントである。一人ひとりの児童の観察をしっかりと行い、その児童が今何に響くのかを見極めて、効果的なほめ言葉で子供たちをさらに伸ばしていきたい。
- (No.20) 今年度も低い数字となっている。学区内各地域で行われている行事に積極的に参加することで地域の絆が強くなっていくものと考えられるので、指導の難しさを感じるが、地域との関わり方の意義を理解させたい。
- (No.21) 1.0%下降、特定の児童が決まりを守っていないことへの評価かもしれないが、みんながきまりを守ることで、自分も守られていくということ、発達段階に応じて指導していきたい。
- (No.22) 各担任が、行事の意義を理解させた上で計画的に取り組ませ、発表当日に達成感を持たせている成果と考える。今後の行事の取り組みでも、子供たちに達成感を持たせられるようにきめ細かく指導していきたい。

### 3 「自己評価」集計表 (対象；教職員)

#### (1) 評価

- ・「A」…「とてもそう思う」、「B」…「そう思う」
- ・「割合」は、「A」、「B」を合わせた肯定的な回答数の割合

※斜数字は85%未満の割合だったもの

※上段；令和元年度、下段；平成30年度の回答

1	児童は、楽しく元気に学校に通っている。	100.0 100.0
2	児童は、基礎・基本を身につけている。	100.0 86.7
3	児童は、授業内容を理解している。	94.4 92.9
4	児童は、家庭学習に自分から取り組んでいる。	83.3 76.9
5	児童は、本をよく読んでいる。	94.4 76.9
6	児童は、元気に自分からあいさつをしている。	83.3 81.3
7	児童は、思いやりがあり、やさしい行動ができている。	100.0 100.0
8	児童は、友達と仲良く生活できている。	100.0 100.0
9	児童は、運動に進んで取り組んでいる。	88.9 92.9
10	児童は、望ましい生活習慣を身につけている。	88.9 93.8
11	自分は、熱意を持って教育にあたっている。	100.0 100.0
12	自分は、わかりやすい授業をしている。	88.9 71.4
13	自分は、授業内容や指導方法の工夫をしている。	94.4 86.7
14	自分は、図書室活用・読書指導を進めている。	94.4 92.3
15	自分は、小規模校の特性を生かした教育活動を図っている。	94.4 86.7
16	自分は、笑顔で子どものやる気を促し、豊かな表情で子どもとかわっている。	100.0 100.0
17	自分は、家庭への連絡や相談をきちんと行き、「誠意とスピード」で対応している。	100.0 100.0
18	自分は、登下校や学校生活の子どもの安全に配慮している。	100.0 100.0
19	自分は、不登校やいじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	100.0 100.0
20	自分は、地域との連携を大切にしている。	100.0 100.0
21	自分は、特別支援を要する児童について、情報を共通し、適切な支援をしている。	100.0 100.0
22	自分の校務分掌について着実に取り組んでいる。	88.9 99.3
23	職員間は、日々の教育活動における問題や悩みを気軽に相談できるものになっている。	94.4 93.8

24	職員間は、不祥事防止について意識を高めるとともに、チェック機能が働くものになっている。	94.4 93.3
25	児童は、自ら考える子に育っている。	88.9 86.7
26	児童は、心豊かな子に育っている。	100.0 100.0
27	児童は、たくましい子に育っている。	94.4 93.8
28	八木南小学校は、“えがおとつながりを大切にする学校”となっている。	100.0 93.8

## (2) 考察

設問項目を増やし、設問内容もより実態に即したものに変更した。また、保護者アンケートの項目も多く入れ、教職員と保護者の違式の差を浮き彫りにしようと試みた。教職員が自身の指導に満足することなく、周りからの評価を謙虚に受け止め、今後の指導に当たりたい。

(No.1, 2, 7, 8, 11, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 26, 28) の13項目で100%という全職員が肯定的な評価をしているところに、今年度、教職員の努力の跡がうかがえる。様々な研修を等して培った指導力の向上が裏付けとしてあるものと考え、さらに学校体制で教師力を向上させていきたい。

(No.2) 研究の取り組みの成果と考える。数値に油断することなく細かな指導を継続し、基礎・基本をしっかりと身につけさせたい。

(No.4) 80%台とやや低い数値となっている。保護者アンケートの考察と同じになるが、子供たちが主体的に取り組める家庭学習を教師が仕組んでいかなければならない。

(No.5) 94.4%と数値が上昇した。全職員で取り組んできた成果と考える。今後も読書指導を継続していきたい。「音読」への取り組みは課題である。

(No.6) 数値は上昇しているものの、上昇傾向が緩い。「あかるく、いつも、さきに、つたわる大ききで」を合い言葉に取り組んでいる成果ではあるが、さらに力をいれなければならない項目である。取り組み強化期間が終わるとともに戻りがちなので、どんな時でも、だれにでも気持ちのよいあいさつができるように、これからも指導を継続していきたい。

(No.10) 4.9%下降ではあるが、日頃からの指導の成果だけではなく、家庭や地域での指導があつてこそと考える。深く感謝したい。

(No.12) 17.5%上昇した。様々な校内研修の成果と考える。油断することなく、これからも研鑽に努めなければならない。

(No.13) 7.7%上昇、これも校内研修の成果と考える。子供たちのためにも、さらに努力を続けなければならない。

(No.15) 7.7%上昇、来年度も、全校児童数に大きな変化はないので、今年度の取り組みをさらに充実させていきたい。また、保護者の意識との差があるので、それを埋められるように努力していきたい。

(No.25) 2.2%上昇ではあるが、学習にきちんと取り組んでいる子供たちだが、「自ら考える」ことについては、まだ不十分さを感じる。学習の本質に迫るために全職員がしっかりと取り組んでいかなければならない課題の一つである。

(No.28) 全職員が意識して取り組めた。学校教育目標の“えがおとつながりを大切にする学校”が達成できていると回答している。今後も自分たちの教育実践を振り返りながら、子供たちのよりよい成長のために努力していきたいと思う。